平成22年度森の名手・名人認定証伝達式が行われました

平成22年度森の名手・名人に認定された県内の5名に対し、㈳国土緑化推進機構から届いた認定証が11月5日、㈳岐阜県緑化推進委員会会長の安田謙三岐阜県議会議長から伝達されました。

【今年度森の名手・名人に認定されたみなさん】

- **森づくり部門**(苗木生産)……郡上市白鳥町……田中(たなか) 豊彦(とよひこ)さん
- **森の恵み部門**……郡上市大和町……岩谷(いわや) 庄精(しょうせい)さん
  (コウヤマキ枝採取・ホオノキ葉採取)
- **森づくり部門**(造林手(枝打ち))…郡上市白鳥町……和田(わだ) 光雄(みつお)さん
- **加工部門**(曲げ物づくり)……中津川市付知町……早川(はやかわ) 松雄(まつお)さん
- **森の恵み部門**(桧皮採取原皮師)……岐阜市切通……須賀(すが) 均(ひとし)さん

▲安田会長からお祝いの言葉を受けられるみなさん

▲左から須賀　均さん、早川松雄さん、和田光雄さん、安田謙三会長、岩谷庄精さん、田中豊彦さん

「森の名手・名人」とは

森を護り、育て、その恵みを活かして持続的に循環させていくことの重要性を広く訴え、社会一般が更に森林と向き合っていく気運を醸成することを目的に、「もりのくに・にっぽん運動」が平成14年11月に開始されました。㈳国土緑化推進機構ではこの運動のリーディングプロジェクトとして、平成14年以降、森や山に関わる樵(きこり)、マタギ、炭焼きなどの生業において、すぐれた技を極め、他の模範となっている達人を「森の名手・名人」として選定しています。「森づくり」「森の恵み」「加工」「森の伝承・文化」の4部門を設け、毎年全国で約100人(本年度81人)を選定しています。

平成22年度 現在の認定状況

- 全国の認定者数…857名
- 岐阜県の認定者数…　38名
  (愛媛県の39名に次ぐ全国第2位の認定者数)

森の楽園の紹介 13

県内各地にある森の楽園を紹介していきます。

岐阜農林事務所●清水勝樹

文殊の森

本巣市文殊・法林寺地内

「文殊の森」は岐阜県の生活環境保全林32カ所の中で8番目に開園(昭和60年)した保全林で、敷地面積62haの中には、戦国時代の武将で織部焼きでも有名な茶人・古田織部が幼少の頃に住んでいた山口城跡もある歴史深い保全林です。

保全林の入口には「ふれあい館」(管理棟)、コテージ(簡易宿泊施設)、テントサイト、バーベキューテラス等の施設があり、緑の中でのキャンプ・バーベキューが楽しめます。また、ローラーすべり台などの遊具施設もあります。〈コテージ、テントサイト、バーベキューテラスは要予約〉

森林内にはいくつもの遊歩道があり森林浴や四季折々の景観を楽しむことができ、展望台からは本巣市街はもとより、天気が良ければ伊勢湾を見渡せるなどすばらしいながめです。また、バードウオッチング小屋もあり野鳥の観察や鳥の鳴き声を楽しむことができます。

〈「ふれあい館」→約25分→「展望台」→約10分→「山口城跡」〉

「文殊の森」は岐阜市内から30分ほどと近く、家族や友人達で楽しく過ごせる場所となっておりますので一度いらしてみませんか。

▲保全林入口(管理棟とバーベキューテラス)

▲展望台からの眺め

アクセス　国道157号線の道の駅「織部の里もとす」すぐ南の信号交差点を東へ。柿畑の中の細い道になりますが、案内看板がたくさん設置してあるので迷うことはありません。(※道が狭いので注意<地元車優先>)